

【質問5】防犯・防災についての意見・アイデア

<30代>

- ・低学年の子どもたちだけで公園等で遊んでいる事が多いので、防犯カメラや作動中の看板などがあれば安心です(難しいかもしれませんが、一応書いてみました)
- ・防災訓練はゲームなど、イベントとあわせて行くと色々な人が参加しやすいと思います
- ・九大などへの施設見学
- ・荻浦地域は街灯が少ないので設置を多くする
- ・地域での声かけをしていく
- ・放送が聞き取りにくい
- ・街灯が少なく夜道が不安
- ・防犯カメラ設置場所の公開、カメラの増設
- ・防犯カメラの設置、子ども110番の家、駐在所の設置
- ・防犯を強化する為には地域の方の顔を知らないといけないので、声かけ、あいさつ、地域の人たちが気軽に参加できるようにした方がよい
- ・南風校区における犯罪・災害の実態が分からない
- ・夜暗い所が多く、あぶないなと思うことが多い。外灯のあかりをもう少しあかるくしたり、ミラーをとりつける所をもう少しふやす必要があると思う

<40代>

- ・外灯を増やしてほしい
- ・多久川の中に生えている草を切ってほしい
- ・防犯カメラを通学路に付けてほしい
- ・家の外灯は自動点灯にしています
- ・散歩のときは、挨拶を心がけています
- ・高齢者が増加しているためパトロールに限界がある。カメラ設置(増設)、ミラー(安全)増設も検討か？
- ・ビニール袋に食材を入れて、カセットコンロでゆでれば調理できるメニューのクッキング教室
- ・防災食、防災用品の体験、一晩公民館で寝泊まりしてみる
- ・犬を飼っている方の一部でマナーが悪い。フンを持ち帰らない
- ・防災グッズが足りているか心配です。地域でそろえているものと、各自でそろえるものとわかるとよいなと思います
- ・街灯の増設
- ・各世帯に「防犯対策強化区」みたいなプレートを発行してもらい、郵便受けに張り付けてもらう
- ・避難所運営
- ・地域内の危険箇所は実際に知らないなので、現地の確認
- ・監視カメラの設置(要所のみ)
- ・多久川沿線の外灯設置
- ・街灯をふやしてほしい
- ・路上駐車のとりにしり強化(不審車と見分けがつかないため)
- ・パトランが最近始まったようですね。よい取り組みだと思います
- ・防災訓練は、毎年内容を少し変えた方が良いのでは？玄海原子力発電所が近いので、事故を想定した訓練もあった方がよいと思う。住民の意識を高める必要があると思う
- ・南風小学校裏側の車道には1つも街灯がないので、間隔を空けてでも着けたほうが防犯になるのでは？
- ・南風台の信号ですが、美咲が丘方面から多久方面へ右折する際、右折矢印が出ない為、特に朝、ほとんどの車が赤で

右折しています。こちら側にも右折の時間(矢印)を設けて頂けないものかと・・・

- ・夜間の青パト巡回
- ・あいさつ、声かけ、不審車情報の共有
- ・街灯を増やす
- ・各家の門灯を少なくとも寝る前までつけてもらうよう協力依頼し、通りを明るくする
- ・年 2 回の清掃月間の際のどちらかで、防災のための避難所などをみんなで確認する
- ・今までたくさんの防犯・防災の準備をしていただいている事でしょうが、防犯や災害時に備えるためにも、若い女性の意見や、

若い世代、子育て中の方の意見を取り入れてみてはどうでしょうか

- ・駅前から駅前セブンイレブンまでの通りの街灯が LED になっており、たいへん明るくなっている。またセブンイレブンから伊都カフェ、1・2 丁目入口付近のマンションまでの道も同様に LED 街灯になっている。1・2 丁目北公園前道、その他丁内の道路は街灯が少なく、暗いため、LED への取替を検討してほしい
- ・IT 化として、SNS や LINE の活用も必要なのではないでしょうか
- ・街を荒らさないこと(治安の悪い街は基本的に街の清掃などが不十分で、荒れている)
- ・原発事故への対応
- ・防犯カメラの設置。予算次第だとは思いますが、本物が良いでしょうが、一部ダミーのカメラを設置して「防犯カメラ設置中」のステッカーをたくさん貼る等、“カメラが見ている！”アピールをする
- ・挨拶運動、防犯パトロールの実施、夜間は外灯をつけ、できるだけ明るくする
- ・防犯上、もっと街灯を増やしていただけると良いと思う
- ・南風集会所前道路～4・5 丁目へ、横断歩道があればと思う
- ・消火栓や防火水槽が少ない
- ・とにかく近所の人と顔を合わせる機会を増やす
- ・防災は大事。特に風災。風災について知識増やしたいと思う
- ・ふれあい会議で話されている事以外、思いつきません
- ・月 1 回巡回している防犯パトロールは実施時間が早すぎ、殆ど意味をなしていないと感じます。21 時スタートへの変更が必要と考えます
- ・民生委員さんを交えて、一人暮らしの方や体の不自由な方の情報を共有することはできないでしょうか(個人情報とのかねあいもありますが・・・)
- ・門灯をなるべくつけてもらうようお願いすると夜道も少し明るくなるのでは？と思います(街灯だけでは暗い所もあるので)
- ・外灯を増やして欲しいが、それが無理なら、各戸に人感センサーのライトを 1 つずつ配布するとか、各家庭の庭・道路面にソーラーライトをおいてもらう、などすると、もっと夜の防犯になると思う

<50 代>

- ・組長を経験してわかりましたが、いざ何かあれば避難するところは、近くの公園ということを知りませんでした。公民館と思っていました。役員さん方の中では進んでいるかもしれませんが、住民の方は、把握してない方が多いのではと思います。まずどこへ・・・次はどこへ・・・物資やなべ道具はどこにある・・・と住民全体が把握しているほうが混乱が少ないと思います。又、近くの公園は人が多くなると対応できなくなるので、実際どうなるのか不安があります
- ・防犯カメラの設置
- ・地域の交流が深まれば、参加しても楽しいと思う
- ・防災訓練を 1 回 / 年で実施した方が良い。避難訓練に始まり、災害発生後の自分たちが生き抜く為のノウハウを修得しておきたい
- ・隣組長を中心に日頃からお互いを知る 団結・見守りに繋がる！

- ・長期家を空けるときは、お隣にひと声かけて、新聞も一時ストップさせるようにはしています
- ・夜出かけるときはリビングの室内灯をつけて出かけています
- ・青い灯は防犯に効果があると聞いたことがあるので、とり入れると良いかと思います
- ・サッシの二重ロック
- ・地域だけでは実行できない部分があり、学校での呼びかけなどが必要だと思う
- ・防犯・防災について子どもたちがポスターを作製したり、自覚をもって、なぜ行うのかという意味から知る必要があるのでは？
- ・防犯：日ごろから「隙を見せない」防犯意識を持ち続けることが大切だと思います。糸島警察からの防犯ニュースが定期的に回覧されています。特に注意すべきところをマーカーで強調するなど、継続的に喚起する事が必要と思います
- ・防災：天災そのものは抑止できません。ひとたび災害が発生した場合の「命を守る」行動が大切です。特別なアイデアはありませんが、現在毎年9月に実施されている防災訓練への積極的参加の呼びかけを継続し、防災意識を持ち続けることが大切だと思います
- ・夜、街灯が少なく暗いと思う
- ・センサーライト、防犯カメラの設置、警察官のパトロール
- ・あいさつ運動はどうですか？散歩中の人や、道で歩いている子どもにあいさつするだけですが、防犯効果はあると思います
- ・災害時に役立つようなイベント(例、指示された避難場所へ行き、避難生活を想定し、お弁当やお茶など受けとる。倉庫の物品を実際に出し点検や補充の必要性を確認。炊き出しの体験。近所での声かけ合い。各家庭での役割分担など)
- ・自宅の夜間灯(街灯)の時間を決めて防犯につなげる
- ・役員の方の幅広いご意見伺い、いつも感心・感動、そして参考とさせて頂いております。特にアイデアは思いつきませんが、
- 電池(LED)は必要です。自宅には、万が一の為、メモは貼り付けております(防災グッズ一式)
- ・美咲が丘駅の自転車置き場とその周辺の街灯が少なく、暗すぎて怖いので、街灯を増やして明るくして欲しいです
- ・街灯が少なく、日没後まっ暗で危険
- ・カーブミラーの設置が不十分で、坂道を下ってくる自転車と車が接触しそうになった状況をよく目にする。事故防止の為にも見通しが悪い箇所にはミラーをつけて欲しい(餅つき大会にかかる費用を充てて下さい。一部の人しか参加していないし…)
- ・隣組内での交流を盛んにして、防犯・防災に役立つ関係づくりをする
- ・防災訓練については、参加者の顔ぶれが毎年同じように感じます
- ・以前と比べると、道ですれ違って、会釈やあいさつが減ってしまった。これは、防犯の有効な手段と言われているので増やすように呼びかける
- ・以前すんでいた地域では、防犯のため住人が見まわりを日常的に行っていました。退職後の余暇をもて余している方々や、
- 健康づくりにウォーキングされたい方などで、定期的に見まわりがあると、犯罪も未然に防げるとは思いますが
- ・防犯では、身を守る為の護身術を知りたい
- ・特別何かに参加するという事は、仕事の関係上なかなかできませんが、街路樹の落ち葉等を集める時等に、子どもたちを見守るとか、不審者に気を付ける等、意識した日々を過ごすという事も防犯等につながるかと思います
- ・高齢者や共働きの世帯が多くなり、日中が不安
- ・街灯をもっと明るくする
- ・防犯・・・外灯や門灯の点灯、草抜きの徹底(可視化の為) 防災・・・道路に植木の枝が出過ぎの家が多い。緊急車両が通行できない恐れがあるので、剪定する様、回覧で周知すべきである
- ・街灯が少なすぎると感じています
- ・防災放送が家の中では何を言っているかわからない。無線スピーカーがお互いに共鳴し合って聞きづらい
- ・外灯があるにはあるが、夜間歩いていると、それでも暗く感じる
- ・街灯を増やしてもらえたら、歩行者や自転車がはっきり確認できると思います

- ・外灯がついていない場所や、家の外灯が決してあると暗い通りなどがある。ソーラー電池などの外灯を積極的に設置してもらうように市や自治体に働きかけてもらおうと防犯につながると思います
 - ・SNS（ツイッター、フェイスブック等）を利用した防犯・防災情報の発信、共有化
 - ・道ですれちがう時に知らない人にも挨拶をする
 - ・地域のラジオ番組みたいなものがあるとおもしろい。いざというときに情報提供する意味で役立つ
 - ・中高生向け(特に女子)の防犯教室
 - ・街灯整備(LED化)
 - ・南風台は防犯灯がきれかかっていたり、又、数が少ないので、街全体がとても暗いです。LED化や数をふやしてほしいです
 - ・ウォーキング、犬の散歩の人に夜間でも光る”反射防犯腕章“の配布(希望者)してみる(以前、オレンジありましたが・・・)
 - ・子どもが小さい時は、親同士の付き合いもありますが、子どもが成長すると次第に付き合いもうすれます。やはり、近所同士、声を掛け合うコミュニケーションは大切だと思います。そのための行事の見直しも大切ではないでしょうか
 - ・統一ジャンパーによる複数人のパトロール活動(あの地域はパトロールがいつもウロウロしている 安全な町づくり)
 - ・予算の関係で難しいとは思いますが、外灯を増やして欲しい
 - ・街灯の設置(暗い所がない様に)
 - ・防犯用の帽子・ジャンパーを着用して、買い物や散歩の際に見回る
 - ・街灯の植栽が背の高さの半分位(低木の植え込み)の高さにして、人の顔がかくれぬ様に
 - ・防災はきちんと進めるべき
 - ・今年、防災訓練に参加しました。参加して良かったと思います。来年も参加しても良いかと思えます
 - ・弁坂線の照明をもう少し多くして防犯防止としてほしい
 - ・被災した際にはトイレが不足すると思われます。下水道利用の簡易トイレなどの装備の準備をお願いしたい
 - ・自宅避難者へのフォローシステムの構築
 - ・宅配サービス、給食サービスなど、高齢者が一人でも生活しやすいサービスを近隣の飲食店、販売店らと提携してほしい
 - ・坂が多いため、歩きにくなると大変だとおもう。セグウェイ利用など、電動カーが通りやすい道にしてほしい！
 - ・校区全体での防災訓練を早く実施すべき。特に避難所運営訓練の実施が必要
 - ・地域のコミュニティーが大切だと思います
 - ・笹山公園の土砂災害について専門家に具体的にどのくらいの雨が降るとこうなる的なシミュレーションを依頼してもらいたい。
- 市民の安全を守ってもらいたい。対策をとってほしい。一日も早く、地震や土砂災害防止建築をしてほしいです
- ・地域の結びつきは必要だと思います

<60代>

- ・防災放送が聞こえづらい
- ・防災訓練は、集会所で行なう時は、出来るだけ参加する事
- ・こども110番に登録する事
- ・年度毎に近郊の公道で発生した事件・事故の発生状況を道路マップに表示して配布する
- ・外灯を増やす
- ・防災訓練は「やり易い事をやれば良い」ではなく、この地で被災した場合を想定して「役に立つ事」を行うべき。知っていた方が良い事と「役立つ知識」は違うと思う
- ・市の防災無線が聞こえない(放送されている内容がまったく不明)。別途、個別受信機の配布を検討してほしい。(他の町村では希望者には配布されています)
- ・校区約20年で街並みが整った反面、歩道や公園、階段、各ブロックの家並みはくすみ、汚れが堆積し古ぼけた街並みになった。校区で高圧洗浄機を購入し、居住者に安価にレンタルする仕組みがあれば、次第に街全体に美しさが戻り、

住民に街を守る意識や愛着も高まる。と同時に、街全体が明るくなることでインバウンド犯罪にも抑止効果が出て、防犯に繋がってくると思う。また、夜が暗いので、街灯を少し増やしてほしい

- ・きちんとプロジェクトチームで継続的に校区防災の形をつくり上げてほしい！
- ・外出先で「火の始末したかな？」と気になることがあります。もし家の中から煙が出たりした場合、ガラスを割ってでも近所の人が消火してくれるとありがたいけど・・・と思うのですが、誰でも同意するとは限りません。許可のシールを貼るなどすればいいかもしれません
- ・班単位で集まって避難するのは無理があると思う。＜緊急を要する場合＞自分の判断で避難してもよいと思う。但し書で、各自の判断で避難することも容認して欲しい。責任のある人が、安否確認のため、後戻りし、死亡する事故も多いので、まず、自分の安全を確保して欲しい
- ・隣近所の方と声かけしたり、交流していれば、いざという時役立つと思う
- ・広い校区の中では(防災ハザードマップによる)災害への危機感や不安感に違いがかなりあると思う。いつも、行政区としてひとくりして説明会等が開催されているが、そうでなく、地形ごとの防災についての話し合いが必要ではないか
- ・全国的に大災害が発生していて、糸島 南風でも発生する可能性があり、当然、個人、地域で行動する必要があり、人、物、金を使用して、準備をするべきである
- ・防災訓練を毎年でなくても、2, 3年に一回でもいいのでしてほしいです（住民の入れかわりもあると思うので）
- ・経費的問題がなければ、設置すべき
- ・スピーカーまったく役立っていません
- ・火の用心パトロール！
- ・防災については、特に地域の人たちとの関わりが必要だと思います。防災訓練など年間行事にして欲しいです
- ・防災の備蓄物の活用・・・夏祭りとか文化祭等で防災コーナーを作って
- ・夜間、南風台の方が美咲が丘に比べ、暗い所が多い気がします
- ・近所での日頃の声かけ
- ・防犯・防災について、基本的には個人でどう対応するか考え、対策を講ずるべき。近年の傾向として、だれかが何かやってくれるとの意識が強いのではないか。反論としては、できない人は？どうするのか。身勝手ではと言われるだろう。できない人を想像するのではなく、できない人はどうしたいのか、自分の意思を明らかにすべきではないか
- ・行政区行事等に参加。隣組の清掃活動、公園清掃、環境美化活動等に少しでも取り組み、参加することで防犯になると思う。回覧を見る事が大切です。以上の事で、防災の時に、組で行動ができると考えます。子どもたちと一緒に防災訓練も大事です
- ・団地内には、三叉路、十字路が多く、一旦停止等の白線が少ないので、安全面を考えて、白線等を設置してほしい
- ・【防犯】夜道が暗い場所がまだある。まず、早くLED化への転換を市役所へ要望する。次に、夜間パトロール実施し、危険箇所マップ作成する
- 【防災】自治会で訓練等実施しているが、まだまだ住民の意識が低いと感じる
- ・自分の命は自ら守るという意識を持つ事が肝要で、自分でできる事から準備等始め、徐々に周囲へ。意識を持ってなければ災害も待ってくれない
- ・隣組長からの高齢者への定期的な声掛け
- ・防犯カメラの増設
- ・活動や訓練の周知と継続が大事
- ・訓練の目的を明確にし、ある程度の強制的参加要請も必要かも
- ・訓練内容は、その都度考えず、数年にまたがる計画性も必要
- ・大災害や大停電時に困ることとして、次のことが挙げられる：
 - 煮炊きが出来ない カセットコンロ(ガスボンベ式)が必要
 - 冷蔵庫の中の生鮮品がダメになる クーラーボックスがあれば少しはつなげる

- 従って、市としても、カセットコンロ、クーラーボックスの普及に補助金を出してはいかがでしょうか
- ・防災無線のスピーカーが各家庭にあればいいと思います
 - ・防犯・防災活動推進月間を決めてみたら良いかも。1 週間でも可能です
 - ・毎年ハザードマップを作成して折り込みをいれてほしい
 - ・住民一人ひとりの声かけや、意識の向上。防災訓練も毎年、同じ顔ぶれなので、日頃からご近所さんのコミュニケーション作りが大切だと思う
 - ・地震が多い日本、いつ来るか！地震が来た時、台風が来た時、停電が起こった時、それぞれの準備。かならず来る災害
 - ・隣近所の方々が仲良しになり、気軽にあいさつやおしゃべり、交流ができるようになることが防犯や防災につながる。どうすればそのような街になるか、みな“ちえ”を出し合う機会があれば良いと思う
 - ・たまにバイクの爆音が夜中にうるさかったり、南風台のセブンイレブン前で塾帰りか、学生がいつまでも駐車場で夜遅い時間にも係わらず、話をしたりするので、声をかけようとは思うものの、一人では声をかけきれず、悩んでました
 - ・歩道の蛍光灯が切れていることが多いので、切れる前に交換することが大事だと思う
 - ・防災放送の内容がききとれない
 - ・街灯を増やす
 - ・防災マップ(カラーでわかりやすいもの)を各世帯に配布してほしい。配布されてましたでしょうか・・・どこに置いてありますか？
 - ・防災訓練等、組長さんが参加されているのだと思いますが、避難するような状況の時にどのような連絡体制となっているのか、よくわからないので、自治会総会や組単位の集まり等あれば、皆で情報共有できるようにするといいかと思います
 - ・原発防災（避難形態等）を明確にする
 - ・南風校区の大半は水害の危険は少ないと思うが、地震等での防災をもっと具体的状況で実施すれば良いのでは。現在の訓練は防災委員（組長）と副委員（次期組長）の参加だけでは住民に浸透しないし、規模的に小さすぎる。行政区全員の実施が必要（例えば、環境美化の日など）
 - ・市役所からの無線がほとんど聞こえません。確認ダイヤルに TEL しても通じません。イザという時に大丈夫かなと不安になります
 - ・エリア別の開催と校区開催との一本化をお願いします。上記(質問 4)とは別に小さいグループでの防災活動、隣近所での参加型避難所への道程確認等
 - ・街灯の数を増やす
 - ・防災マップを供覧する、または配布する
 - ・シニアの活動する場がもっとある方がよい
 - ・カメラ設置等、街路灯が暗いので明るくしては、若しくは数を増やしては・・・

<70 歳以上>

- ・自主防犯
- ・防災行政無線の放送がほとんど聞こえにくい為、携帯電話に登録しています。随時、お知らせが入るので助かります
- ・防犯について、小さい事でも匿名で「公民館と地域ニュースみなかぜ」に掲載し地域で見守る
- ・質問 7 と同じ。まずお隣さんから、また、お隣さんと輪を広げて絆を深めていけば、安心感が少しは持てると思いますが、むずかしい事はその分野の方々をお願いして教えていただかないとわかりません(外出の際とか火の元には気をつけてはいるのですが)
- ・夏祭り時、学校行事時などに、8 丁目の防火水槽前に駐車されている方がいらっしゃいますが、防災に対する意識が低いと感じています
- ・各行政区毎の町内巡視活動の充実を
- ・防犯・防災活動の基本は最小単位の組である。ついては、組の活動を助成し、組の中の皆さんが顔見知りでコミュニケーションがとれていることが大切。現状では甚だ不足している

- ・大通りから入ったわき道で、すれちがう時など「おはようございます」「こんにちは」等の挨拶をし合うようにすると良いのでは(親しみも覚えるし)と、思います
- ・市で設置されているスピーカーの音声が非常に聞き取りづらいので、何等かの改善が出来ないかと思う
- ・現時点で実施されている防犯パトロールは抑止に大変貢献していると思う
- ・地域の方々とのあいさつ、コミュニケーションが大切かと思えます。お互いに顔見知りとなり、声かけを続けていきたいと願っております
- ・街灯をもう少し増設してほしい
- ・川横の草刈りをしっかり。子どもたちは草がしげり、川沿いで遊べないし、危険
- ・避難場所が遠い。老人等には迅速な行動がとれない、又、時間がかかる。行動基準があいまいである
- ・日頃ご近所同士気をつけあい助け合って生活していくことが大事かと思えます
- ・年に一回は地域ごとに防災訓練をして防災をもっと身近なものにした方が良いと思う
- ・防災無線が聞こえづらい(聞き取れない) 6組。最初と最後だけは聞こえる(美咲が丘からと思うが?) 1~2度組長さんに伝えたが改善なし
- ・防犯 = この地域では犯罪は起こってないので(私が知らないのかもしれないが)幸せでいる
- ・防災 = 災害を防ぐのは困難かもしれないが、対策としては訓練はしておくべきと思う
- ・荻浦の国道より南風小学校の道路は道が狭い上、歩道もあり、30 kmの交通規制があるが頻繁に通る。無理かもしれないが一方通行の規制はどうか
- ・全域の街灯が不足しており、夜間暗い場所が多すぎる 街灯を増やす
- ・週末に向け深夜に暴走行為のバイクで迷惑しています
- ・交差点に防犯・防災立て看板を設置
- ・防犯・防災ではありませんが、篠原の里から前原中央保育園への横断する際の交差点が、小・中学生が横断するので、非常に危険だと思いますので、改善をしていただけるとよいと思います
- ・特に小学校の付近の道路の路面に凸面を作って車が速度を落とさざるを得ない条件をつくる
- ・災害時の避難場所が南風公民館でよいのか。「場所」が問題ではないか?
- ・直接の訓練や講習等も必要だと思いますが、隣組(組内)が一つになること 行政区が顔なじみとなること(皆が顔と名前が一致すること)が最も大切なように思います。行政区の重点実施事項として校区運営委員会で決めるのが良いでしょう
- ・市役所から台風、火災等の放送があるが、我家は騒音としてはきこえるが、中身は全く聞こえません(エコーがかかったような声になります)。これまでも何回かクレームを言いましたが、その都度対策を打ってもらいました(音を大きくするとか中継地を近くにするとか)が結果は全く変わりません。行政があれば皆に伝わったと思われぬように願います。こちらから市役所に特定の番号に TEL すれば放送内容がきこえるようにしてもらえませんか
- ・夜になると全く人通りが無くなるので街灯切れのない様に努める事
- ・全体的に街灯が暗いです。たとえ切れてなくてももう少し明るい街灯にしてほしいです。街灯の数も増やしてほしいです。夜道が危ないです
- ・隣組活動の活性化
- ・防犯カメラの設置場所の周知と数を増やす事
- ・防犯、報歳、両方とも地域住民の交流が基本である。現校区でぜひ進めていく必要を感じております。(例)各行政区で隣組が組織されているので隣組単位で通常時に話し合いの場を作ることをぜひ実行したい
- ・出来ればパトカーの巡回の増加、それも不定期に巡回してもらおうと予防効果が上がると思います
- ・大雨の時、南風公民館が避難所になっていますが、背後(裏)の川は大丈夫なのか疑問に思います
- ・家のまわりに燃えやすい物をおかない
- ・散歩、買い物に行く時、気になったら声をかける
- ・防犯パトカーは大変よい事だと思います。続けてください

- ・防犯・防災訓練の定期的実施
- ・防犯カメラの設置場所の増加
- ・防犯・・・青パトの活動の拡充と行政区毎の夏と冬の地域パトロール活動を地域で行えないか考えたい
- ・防犯・声かけ(声をかけ合う 挨拶運動 校区の方が相互に声をかける習慣が大切！校区外の方は反応しない)
- ・避難訓練はどのような災害に対して避難しているのか、目的が分からない。毎年、無目的に惰性で行われているようで、あまり参加意欲がわかない
- ・校区に住する皆さん関心があり、協力しなければいけないことだと思います。全員集合されるそうじの場なりを借りて、消防の方とかにご支援いただき、かんたんな講習、演習 etc.を企画されたいかがでしょうか。1人の機転で犯罪が救われ、1人の不注意で火災が発生することもあります
- ・現状問題があるのであれば、その課題を明確にして、その解決に向けた話し合いで知恵を出し合う場をつくる
- ・南風校区の全体の防災組織を早急に編成すべきである(未だ公表もない)。大規模災害の場合、国 県 市 校区の連携が欠かせないので、この分野の組織は行政区長会が中心になる。運営委員会は行政以外の地域活動を決め、実行、修正していく役割と思う。行政区長は市の臨時職員であることを銘記すべき
- ・市からの広報アナウンスが聞き取りづらく(窓をあけてもはっきり聞こえません)。緊急時に役立たないのではないかと懸念いたします
- ・防犯カメラを要所に取付ける
- ・空いたペットボトルに水を入れて取って置く。10ケ、20ケ、30ケ、40ケ、50ケ～100ケとね。じゃまにならない所にね
- ・防災の件の拡声機の通知はほとんど聞こえないので効力がないと思う
- ・毎年、防災の日(9月1日)に合わせて「南風校区防災点検デー」を設定し、各班員が全員で街歩きを実施し、各行政区に報告し、危険個所について対策の有無を検討する
- ・避難場所は公民館や小学校になっていますが、一番低い土地に建っているのにふしぎでたまりません
- ・防災について対応マニュアルが来ていますが、私の住んでいる所で当てはまる所がない様に思われます。もっとこまかくしてほしい。一般的なマニュアルではどうしようもないです

<不明>

- ・高齢者が増えて来ているので近くに避難できる場所がある方が助かります
- ・電信柱に海拔××mの表示を明記していただくと津波や浸水時の避難目安になると思います
- ・避難指示をメール配信いただければよい。携帯電話を以ていない方もいますので、広報車による呼びかけをして欲しい
- ・防犯については不審車情報のメールでの配信を
- ・とてもいい取り組みだと思います。なかなか意識していても身につかないので、継続していくことが大切だと思います
- ・リタイアした会社員や公務員を主体とした団体の創設を育成して頂ければ一石二鳥と思う
- ・街灯が少なく暗い
- ・街灯を増やす or 明るくする
- ・声かけ合う環境ができれば嬉しいです。子どもたちが元気にあいさつしあえる地域にしたいです